

古文ドリル：「ば」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ば」の正体（接続で決まる）

古文の接続助詞「ば」は、**直前の活用形（未然形か已然形か）**で意味がまったく変わります。ここを取り違えると訳が逆になり、読解で大きく失点します。

用法	接続（直前の形）	訳	例
① 順接仮定条件	未然形 ＋ば	もし～なら（まだ起きていない仮定）	降ら ば
② 順接確定条件	已然形 ＋ば	～ので／～と（すでに・当然起こる）	降れ ば
③ 「をば」	格助詞「を」＋係助詞「は」	条件の意味なし（強調）	花を ば

②**已然形＋ば**は、さらに3つの訳を文脈で見分けます。

- (a) 原因・理由「～ので」 例：花咲け**ば**春なり（花が咲くので春だ）
- (b) 偶然条件「～と・～したところ」 例：門を開け**ば**人あり（門を開けると人がいた）
- (c) 恒常条件「～と（いつも・必ず）」 例：春になれば**ば**花咲く（春になるときまって花が咲く）

識別の鉄則

1. **意味より先に「ばの直前の形」を見る**。これが最重要。
2. **未然形＋ば** → 仮定「もし～なら」。後ろに意志・推量・打消意志（む・じ・べし等）が来やすい。
3. **已然形＋ば** → 確定「～ので／～と」。すでに起きた事・当然の事。
4. 四段動詞は音で判断できる：**直前がア段（行か・降ら）＝未然形／エ段（行け・降れ）＝已然形**。
5. ただし**変格活用・二段活用は形で判断**（サ変＝せ／すれ、カ変＝こ／くれ、ラ変＝あら／あれ、ナ変＝死な／死ぬれ、上一＝見／見れ、上二＝起き／起くれ、下二＝受け／受くれ）。
6. 「**をば**」の「**ば**」は**別物**。格助詞「を」＋係助詞「は」が濁音化したもので、条件の意味はない。訳は無視してよい。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 四段動詞は「直前の母音」で即決

- ・ **ア段+ば**（書か・行か・思は・降ら）→ **未然形+ば**（仮定「もし～なら」）
- ・ **エ段+ば**（書け・行け・思へ・降れ）→ **已然形+ば**（確定「～ので／～と」）

コツ② 変格・二段は「形」で覚える

- ・ 「**せば**」（サ変未然）「**こば**」（カ変未然）「**あらば**」（ラ変未然）「**死なば**」（ナ変未然）→ **仮定**
- ・ 「**すれば**」「**くれば**」「**あれば**」「**死ぬれば**」→ **確定**
- ・ 二段は「**起きば**（未然）／**起くれば**（已然）」「**受けば**（未然）／**受くれば**（已然）」

コツ③ 已然形+ばは「ので・と」で処理して訳を選ぶ

- ・ 理由なら「～ので」、たまたまの発見なら「～と・～したところ」、いつもの法則なら「～と（必ず）」。

コツ④ 「をば」を見たら条件と考える

- ・ 「花をば」「月をば」「人をば」の「ば」は係助詞「は」。強調だけで、訳は「花を／月を／人を」と同じ。

よくある引っかけ

- ・ 四段の已然形と命令形は同形（「行け」）。「**ば**」が付くのは**已然形**。
- ・ 「ずは・くは」（打消・形容詞の未然形+ば相当）は**仮定**「～ないなら／～ならば」。
- ・ 「**せば～まし**」「**ましかば～まし**」は**反実仮想**（もし～だったら…だろうに）。条件節は未然形相当。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- ・ 基礎（Q1～Q20）： ／20
- ・ 標準（Q21～Q50）： ／30
- ・ 応用（Q51～Q80）： ／30
- ・ 入試レベル（Q81～Q100）： ／20
- ・ 合計： ／100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

四段動詞中心に、未然形＋ば（仮定）と已然形＋ば（確定）を純粹に見分ける。

Q1. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降ら**ば**出でじ。

Q2. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降れ**ば**出でず。

Q3. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花咲か**ば**見む。

Q4. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花咲け**ば**春なり。

Q5. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行か**ば**告げよ。

Q6. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行け**ば**人あり。

Q7. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

思は**ば**言へ。

Q8. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

思へ**ば**悲し。

Q9. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

風吹か**ば**散りなむ。

Q10. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

風吹け**ば**散る。

Q11. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

待た**ば**来む。

Q12. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

待て**ば**来たる。

Q13. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

聞か**ば**驚かむ。

Q14. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

聞け**ば**あはれなり。

Q15. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

散ら**ば**惜しからむ。

Q16. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

春来れ**ば**花咲く。

Q17. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命あら**ば**また会はむ。

Q18. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命あれば頼もし。

Q19. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

死な**ば**もろともに。

Q20. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

日暮るれ**ば**帰る。

【第2部】 標準編（Q21～Q50）

已然形+ばの3つの訳（原因理由・偶然条件・恒常条件）を文脈で訳し分ける問題を中心に。

Q21. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雪降れば道見えず。

Q22. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

戸を開くれば月さし入る。

Q23. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

秋来れば虫鳴く。

Q24. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

病重ければ起きも上がらず。

Q25. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

山路を行けば滝あり。

Q26. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

月いづれば影さやけし。

Q27. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

風冷たければ袖寒し。

Q28. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

門に立てれば人出で来。

Q29. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

年暮るれば雪降る。

Q30. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

涙落つれば文字も見えず。

Q31. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

春になれば訪ね来む。

Q32. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

春になれば花咲く。

Q33. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨やまば帰らむ。

Q34. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雨やめ**ば**出でぬ。

Q35. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

君来**ば**待たむ。

Q36. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

君来れ**ば**うれし。

Q37. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

文見**ば**返事せむ。

Q38. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

文見れ**ば**涙落つ。

Q39. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降ら**ば**いかにせむ。

Q40. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鐘鳴れ**ば**人集まる。

Q41. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

灯火近づくれ**ば**虫寄る。

Q42. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

命長から**ば**恥多し。

Q43. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

日高くなれば暑し。

Q44. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

人間は**ば**何と答へむ。

Q45. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

人間へ**ば**ありのままに語る。

Q46. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

川を渡れば里に出づ。

Q47. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心あら**ば**問へかし。

Q48. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

思ひ出づれば今も悲し。

Q49. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

雨降らば降れ。

Q50. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

時来れば花おのづから開く。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

変格・二段活用の見分け、「ずは・くは」、「をば」、紛らわしい識別を実戦的に。

Q51. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花をば惜しむ。

Q52. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

月をば見ず。

Q53. 次の傍線部「は」を識別せよ。

雨降らずは出でむ。

Q54. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

名を惜しま**ば**退くな。

Q55. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

すれ**ば**かなふ。

Q56. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

せ**ば**いかならむ。

Q57. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

起き**ば**告げよ。

Q58. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

起くれ**ば**夜明けたり。

Q59. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

受け**ば**返さむ。

Q60. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

受くれ**ば**喜ぶ。

Q61. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

死な**ば**死ね。

Q62. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

死ぬれば皆悲しむ。

Q63. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

来（こ）**ば**いかに。

Q64. 次の傍線部「は」を識別せよ。

見ず**は**あらじ。

Q65. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

数多かれ**ば**選びがたし。

Q66. 次の傍線部「は」を識別せよ。

心づきなく**は**見ゆまじ。

Q67. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

風吹け**ば**波立つ。

Q68. 次の傍線部「は」を識別せよ。

露しげく**は**袖濡れむ。

Q69. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我あら**ば**守らむ。

Q70. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

我あれば安し。

Q71. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

蹴**ば**痛からむ。

Q72. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

蹴れば転ぶ。

Q73. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我を**ば**頼め。

Q74. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鳥鳴け**ば**夜明く。

Q75. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

行か**ば**行け。

Q76. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

涙の川渡れ**ば**袖濡る。

Q77. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

世の中を厭は**ば**山に入れ。

Q78. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

世を厭へ**ば**心安し。

Q79. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

言は**ば**言へ。

Q80. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雪消ゆれ**ば**草青む。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

反実仮想（せば～まし）、有名出典、係り結びとの複合など実戦レベルで総仕上げ。

Q81. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

世の中にたえて桜のなかりせ**ば**春の心はのどけからまし。(古今集・在原業平)

Q82. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

鏡に色・形あら**ば**映らじを。(徒然草)

Q83. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

花の散るを**ば**惜しむ。

Q84. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心あら**ば**ぬしに告げてよ。

Q85. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

名にし負は**ば**いざ言問はむ。(伊勢物語)

Q86. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

月見れ**ば**ちぢにものこそ悲しけれ。(古今集・大江千里)

Q87. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

散ら**ば**散れ風な吹きそ。

Q88. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞か**ば**今帰り来む。(古今集・在原行平)

Q89. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

思ひつつ寝れ**ば**や人の見えつらむ。(古今集・小野小町)

Q90. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

いざ給へ。雨降らぬさきに帰ら**ば**や。

Q91. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

命あればこそ、かかる世にも会へ。

Q92. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我死な**ば**焼くな埋むな。

Q93. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

雨の降れば、え出で立たず。

Q94. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

あら**ば**あれ、なくてもありなむ。

Q95. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

玉なればこそ光れ。

Q96. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

我にもし羽あらば飛びて行かまし。

Q97. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

鶏鳴けば東白む。

Q98. 次の傍線部「ば」を識別せよ。

心にもあらで憂き世にながらへば恋しかるべき夜半の月かな。(後拾遺集・三条院)

Q99. 次の傍線部「ば」を識別し、訳の種類を答えよ。

山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば。(古今集・源宗于)

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「ば」の直前の活用形をもう一度確認しましょう。

- **未然形+ば**…假定「もし～なら」。四段はア段（降ら・行か）、変格はせ／こ／あら／死な、二段はi段・e段（起き・受け・越え）、上一は見、下一は蹴。後ろに意志・推量・命令・打消意志が来やすい。
- **已然形+ば**…確定「～ので／～と」。四段はエ段（降れ・行け）、変格はすれ／くれ／あれ／死ぬれ、二段は～くれ／～ゆれ。①原因理由「ので」②偶然「～と・～したところ」③恒常「～と（いつも）」を文脈で訳し分ける。
- 「**をば**」…格助詞「を」＋係助詞「は」。条件ではなく強調。訳は無視してよい。
- 「**ずは・くは**」…未然形相当に付く假定「もし～ないなら／～ようなら」。
- 「**せば～まし」「ば～まし**」…反実仮想「もし～だったら…だろうに」。

「ば」を見たら、意味より先に**直前の形**。この習慣が入試本番の安定した得点につながります。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「に」「なり」「の」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennozennsei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennozennsei.com>